

NEWS LETTER  
会報



紙リサイクルにもっとたくさんの方が参加する土台づくり。



Topics

- 令和8年度 事業計画及び収支予算
- 全国小中学生「紙リサイクル」コンテスト2025 審査結果・表彰式



公益財団法人 古紙再生促進センター





# 目次

P 2 理事会報告

令和8年度 事業計画及び収支予算

P 9 活動報告 本部

全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2025

P 22 センター日誌

センター日誌(1月～3月分)



# 令和8年度 事業計画

紙リサイクルを取り巻く環境は、発生量の減少や可燃ごみ削減・脱炭素政策の加速、古紙排出構造の変化を背景に、大きな転換期にあります。創立 50 周年を契機に掲げた長期ビジョン「サステナブルチャレンジ 2050」を具体化すべく、中期ロードマップ「Towards 2030 & Beyond」に基づき、本年度を段階的事業拡大に向けたスタートの年として位置づけます。

2030 年（令和 12 年）は、気候変動対策や循環経済への移行を社会に定着させる上で重要な節目であり、今後数年間の取組成果が、その後の社会の方向性を左右するとされています。本年度は、「実証・連携・横断」をキーワードに、従来の取組を深化させ、次の段階への展開に向けた基盤形成を図る年度とします。

当センターは、紙リサイクルの環境・経済・社会的側面を含めた統合的価値の最大化を志向し、自治体、事業者、教育・研究機関、市民等、多様なステークホルダーとの連携を通じて、循環型社会形成における「つなぎ手」としての役割を一層強化してまいります。

## 事業計画策定の基本スタンス

- 公益4事業 ①古紙品質安定対策 ②広報 ③調査研究 ④紙の資源リサイクル安定化対策を軸に、有機的な事業運営の在り方を追求します。
- 各地で社会実験が進行中の「地域循環共生社会づくりモデル」の拡大を通じ、「雑がみ掘り起こし」への道筋を模索します。
- 増加する「雑がみ」や品質低下が指摘される「雑誌」の課題について、入口（回収）から出口（利用）までを俯瞰した諸対策に取り組みます。
- 全国 1,700 余の自治体における可燃ごみ削減を通じた脱炭素化の流れの中で、啓発実験である「雑がみさまを探せ!」を通じ、市民の行動変容の可能性を探ります。
- 自治体、教育・研究機関、他団体など、多様なステークホルダーとのパートナーシップ協定の締結を通じた対策を講じてまいります。
- リサイクル分野における GX・DX のモデル事業化に向け、基礎調査に取り組みます。

## 1. 古紙品質安定対策事業

古紙品質の維持向上を図るため古紙品質調査及び情報共有を継続し、「個別品質対策」では必要に応じ、関連団体との連携を図ります。

### (1) 古紙品質調査事業

全国の製紙メーカーの協力の下、古紙開梱組成調査を実施します。

### (2) 古紙品質情報ネットワークの運用

全国展開した古紙品質情報ネットワークを通じ、製紙工場での品質トラブル情報を他社工場、古紙問屋へ伝達、情報共有を図ります。

### (3) 個別古紙品質対策

4大禁忌品である「昇華転写紙」、「感熱性発泡紙」、「ロウ引き段ボール」及び「臭いのついた紙」の混入防止等、禁忌品対策を実施します。また、一般住民への啓発など必要に応じ、地方自治体を含め関係団体との連携を図ります。

## 2. 広報事業

地方自治体職員や未来の紙リサイクル促進を見据えた小中学生を対象に啓発や情報発信に努め、対面型・オンライン型のハイブリッドにより事業拡大を進めます。

また、『全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト』については、継続して応募点数の増加等、さらなる内容の充実を図ります。

### (1) 紙リサイクル啓発事業

#### 1) 紙リサイクル研修会

地方自治体と連携し、集団回収実施団体代表者や事業者等を対象に紙リサイクルに関する研修会を実施します。また、全国自治体の新人廃棄物担当者やSDGs及び環境問題等に関心のある大学生を対象とした研修会を実施します。

#### 2) 紙リサイクル出前授業

小学生を中心に、対面型及びオンライン型での出前授業を積極的に拡大します。また、大学生講師の確保など授業提供体制の拡充を図ります。

#### 3) 地域広報活動

各地域にて開催される紙リサイクルイベントへの参加等、紙リサイクル啓発のための広報活動を実施します。

#### 4) 紙リサイクルセミナー

毎年開催の紙リサイクルセミナーを、10月16日（金）に開催する予定です。ライブ配信、録画配信を実施、ステークホルダーに広く周知します。

## 5) 啓発資料等の配布

紙リサイクル啓発のためのリーフレット等を提供するとともに、「会報」を発行し、業界関係者・自治体等に配付します。また、隔年発行の「古紙ハンドブック」の準備を行います。

## 6) 紙リサイクルコンテスト

18回目となる「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2026」を通じ、作文・ポスターの優秀作品選定・表彰、応募点数の増加等、内容の充実に努めます。

## 7) 未利用古紙掘り起こし・品質確保等の啓発 他

SDGsと紙リサイクルやセンター事業との関わりについて周知活動を継続します。また、地方自治体からの要望対応等、自治体との関係強化を継続します。

## (2) 紙リサイクル普及事業

### 1) 顕彰制度

紙リサイクル推進に貢献されてきた集団回収実施団体に対する顕彰を継続します。

### 2) グリーンマーク

古紙利用製品の認識向上及び利用拡大を図るため、グリーンマークの普及に努めます。

## 3. 調査研究事業

国内では古紙発生構造の変化や、各地方自治体のリサイクル変化等につき調査を行い、海外では製紙・古紙業界関係者との交流や調査事業の在り方を検討します。

### (1) 国内資源化調査

#### 1) 雑誌・雑がみ・オフィス古紙調査

雑誌及び雑がみの流通実態の把握に努め、将来的な対応に向けたシナリオづくりを目指します。また、雑がみ回収促進に関する調査及び一般消費者を対象にしたオンラインでのリサイクル意識調査を実施します。

#### 2) 地方自治体古紙関連施策調査

全市区町村（約1,700）に対し、古紙回収量や紙リサイクル施策等について調査を実施します。特に今年度は集団回収に関する施策を重点的に調査します。

また、集団回収の持続的な発展を目的とし、都市部の集団回収制度の運用実態や回収量の推移、マンション等の集合住宅における実態についてアンケートやヒアリング調査を令和7年度に引き続き行います。

#### 3) 新技術に対応した紙リサイクル促進に関する調査研究

リサイクル性の観点で、環境対応の紙・プラ複合素材及びマテリアルリサイクルを念頭に置いたパッケージのあり方について注視していきます。

#### 4) 未利用古紙の回収ネットワーク構築

未利用古紙の実状や回収の課題を把握します。

#### 5) 外部組織とのパートナーシップ

紙製容器、牛乳容器関連協議会への情報提供を行うとともに、中長期課題対応に向けて、新たな観点からの紙リサイクルに関わるステークホルダーや組織、研究機関とのパートナーシップづくりを継続します。

### (2) 海外市場調査

国際資源循環の変化に対応し、海外の製紙・古紙業界関係者との古紙をキーワードとしたオンライン交流を検討・実施します。

### (3) 統計調査

国内外における古紙需給統計等を収集し取りまとめを行い公表します。

## 4. 紙の資源リサイクル安定化対策事業

少子高齢化に伴う人口構造変化、都市集中・地方過疎化、デジタル化が進み、近年の社会環境変化は著しくSDGsやESGが企業活動や行政施策の共通言語となり、循環経済の考え方が社会において広く共有されつつある中、国内外の中長期的な課題に向けて活動します。

### (1) 古紙余剰対策事業

#### 1) 紙リサイクル維持対策（備蓄事業）

紙リサイクルシステム維持のため、余剰が生じた場合の対策を講じます。

### (2) 紙の資源リサイクル安定化施策事業

#### 1) 海外調査研究

日本の紙リサイクル安定化のため、主要な古紙輸出国・輸入国の紙リサイクルの状況を調査します。

#### 2) リサイクル方法の調査研究

古紙の製紙原料以外の用途に関する調査を実施します。

#### 3) 紙リサイクルの維持

古紙回収量の減少が続く中、家庭・事業系可燃ごみに混入しているリサイクル可能な紙、中でも、特に多くを占めている雑がみの掘り起こしが急務であることから、雑がみに特化した啓発活動及び地域循環共生社会づくりモデルを積極的に実施します。また、紙リサイクルを巡る課題を多様なステークホルダーと共有可能な形で整理していきます。

#### ア) 雑がみ回収促進社会実験「雑がみさまを探せ!」

昨年度に引き続き小学校や環境フェア等での雑がみ啓発活動を実施します。また、啓発資材として雑がみさまの着ぐるみやノート、ショート動画等の作成を行います。啓発活動の実績は事例集にとりまとめ、全国の自治体に提供します。

#### イ) 地域循環共生社会づくりに係る企画・運営及び広報

「雑がみさまを探せ!」を中心とした多様なステークホルダーとの接点構築や啓発のための企画・運営、それに伴う広報活動を実施します。

#### ウ) 中学、高校等での雑がみ啓発授業

ESD (Education for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育) 専門家の協力を得て、中学校や高校にて雑がみの理解向上を目的とした授業を行います。

#### エ) 千葉大学環境 ISO 学生委員会との連携事業

千葉大学環境 ISO 学生委員会と連携し、千葉大学の環境イベントでの雑がみ啓発や千葉大学内から発生したミックス古紙 (雑がみ) の回収促進策の検討などを行います。

#### オ) こどもエコクラブとの連携事業

「雑がみさまを探せ!」の取組みを希望するこどもエコクラブに雑がみ啓発袋などを提供すると共に、全国エコ活 (エコ活動) コンクールにて賞を授与します。

#### カ) 古紙問屋の DX モデル事業

古紙問屋の協力を得て、紙リサイクルにおけるDX推進モデルづくりを継続実施します。

#### キ) SBT 認証取得モデル事業

古紙問屋の協力を得て、SBT (Science Based Targets: 企業が設定する温室効果ガス排出量の削減目標) 認証取得のためのモデルづくりを実施します。

#### ク) 紙リサイクルを巡る認識共有とパートナーシップ深化

紙リサイクルを巡る課題を多様なステークホルダーと共有可能な形で整理し、相互理解を深めるため、対話・勉強会、セミナーという形で情報共有を積み重ねていきます。

## 5. その他の事業 (地区委員会活動事業)

全国8地域の委員会において、各地域の独自性を考慮した研修会等の事業を実施します。

## 6. 公益目的事業以外のセンター運営活動

業務委員会、国際委員会、家庭紙委員会、各地区委員会においては、紙リサイクルシステム維持等に向けて、定期的な紙リサイクルに関する意見交換を通じて、円滑なセンター運営を心がけ、一層の情報発信に努めます。

# 収支予算書

(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
<b>I一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
<b>(1) 経常収益</b>			
<b>基本財産運用益</b>	<b>33,000</b>	<b>33,000</b>	<b>0</b>
基本財産受取利息	33,000	33,000	0
<b>特定資産運用益</b>	<b>16,632,000</b>	<b>5,300,000</b>	<b>11,332,000</b>
運用財産受取利息	16,632,000	5,300,000	11,332,000
<b>受取会費</b>	<b>199,880,000</b>	<b>205,780,000</b>	<b>△ 5,900,000</b>
賛助会員受取会費	199,880,000	205,780,000	△ 5,900,000
<b>事業収益</b>	<b>1,000,000</b>	<b>1,000,000</b>	<b>0</b>
紙の資源リサイクル安定化対策事業収入	1,000,000	1,000,000	0
<b>受取寄付金</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
受取寄付金	0	0	0
<b>雑収益</b>	<b>349,000</b>	<b>300,000</b>	<b>49,000</b>
雑収入	349,000	300,000	49,000
<b>経常収益計</b>	<b>217,894,000</b>	<b>212,413,000</b>	<b>5,481,000</b>
<b>(2) 経常費用</b>			
<b>事業費</b>	<b>206,141,000</b>	<b>198,391,000</b>	<b>7,750,000</b>
役員報酬	20,727,000	20,727,000	0
給料手当	38,940,000	44,580,000	△ 5,640,000
福利厚生費	9,167,000	9,994,000	△ 827,000
役員賞与引当金繰入額	2,714,000	2,714,000	0
賞与引当金繰入額	3,686,000	3,750,000	△ 64,000
役員退職慰労引当金繰入額	2,396,000	2,396,000	0
退職給付費用	1,325,000	1,562,000	△ 237,000
古紙購入代金	1,000,000	1,000,000	0
会場費	4,856,000	5,104,000	△ 248,000
資料作成費	900,000	960,000	△ 60,000
啓発活動費	5,580,000	3,450,000	2,130,000
広告料	720,000	220,000	500,000
システム費	4,028,000	4,696,000	△ 668,000
委託費	44,683,000	34,179,000	10,504,000
会議費	460,000	575,000	△ 115,000
旅費交通費	10,536,000	10,055,000	481,000
通信運搬費	5,463,000	4,484,000	979,000
減価償却費	802,000	162,000	640,000
消耗品費	2,763,000	2,827,000	△ 64,000
印刷製本費	5,069,000	7,295,000	△ 2,226,000
新聞図書費	1,729,000	1,608,000	121,000
水道光熱費	1,255,000	1,255,000	0
賃借料	27,082,000	25,459,000	1,623,000
諸会費	1,907,000	1,236,000	671,000
諸謝金	438,000	270,000	168,000
租税公課	86,000	4,000	82,000
支払手数料	19,000	19,000	0
雑費	20,000	20,000	0
地区事業費	7,790,000	7,790,000	0

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
<b>管 理 費</b>	<b>21,800,000</b>	<b>22,560,000</b>	<b>△ 760,000</b>
役員報酬	1,802,000	1,802,000	0
給料手当	2,585,000	3,120,000	△ 535,000
福利厚生費	791,000	913,000	△ 122,000
役員賞与引当金繰入額	236,000	236,000	0
賞与引当金繰入額	359,000	451,000	△ 92,000
役員退職慰労引当金繰入額	208,000	208,000	0
退職給付費用	135,000	290,000	△ 155,000
会場費	0	0	0
広告料	198,000	198,000	0
システム費	264,000	338,000	△ 74,000
委託費	379,000	390,000	△ 11,000
会議費	5,919,000	5,743,000	176,000
旅費交通費	49,000	73,000	△ 24,000
通信運搬費	142,000	144,000	△ 2,000
減価償却費	67,000	14,000	53,000
消耗品費	141,000	139,000	2,000
印刷製本費	12,000	11,000	1,000
新聞図書費	21,000	23,000	△ 2,000
水道光熱費	105,000	107,000	△ 2,000
賃借料	2,154,000	2,129,000	25,000
諸会費	90,000	91,000	△ 1,000
諸謝金	5,086,000	5,086,000	0
租税公課	63,000	63,000	0
支払手数料	431,000	428,000	3,000
雑費	563,000	563,000	0
<b>経 常 費 用 計</b>	<b>227,941,000</b>	<b>220,951,000</b>	<b>6,990,000</b>
当期経常増減額	△ 10,047,000	△ 8,538,000	△ 1,509,000

## 2. 経常外増減の部

### (1) 経常外収益

経常外収益計	0	0	0
--------	---	---	---

### (2) 経常外費用

経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 10,047,000	△ 8,538,000	△ 1,509,000
一般正味財産期首残高	2,428,953,000	2,430,077,000	△ 1,124,000
一般正味財産期末残高	2,418,906,000	2,421,539,000	△ 2,633,000

## II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0

<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>2,418,906,000</b>	<b>2,421,539,000</b>	<b>△ 2,633,000</b>
---------------------	----------------------	----------------------	--------------------



# 全国小中学生 “紙リサイクル”コンテスト 2025 表彰式

「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト」は、全国の小中学生から紙リサイクルに関する活動やアイデアをテーマとした作文・ポスターを募集し、優秀な作品の作成者を表彰するもので、平成21年度から実施し、今回で17回目の開催となりました。全国各地の小中学生から多数の応募をいただき、応募点数は2,112点（応募校:97校）となりました。都内ホテルで表彰式を開催しましたのでご紹介します。



全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2025 表彰式 全体記念写真

表彰式は文部科学大臣賞・金賞・特別金賞受賞者をお招きし、2月28日（土）にホテルメトロポリタンエドモントにて開催し、表彰状・副賞・記念楯を贈呈しました。各受賞者から（作文の方には）朗読、作品制作の意図、受賞を知った時の喜び等を述べていただきました。受賞者が作品に込めた思いや本コンテストを通じて得た学びについて、受賞者コメントの一部を紹介します。



長谷川代表理事 開会挨拶



賞状授与の様子

## 受賞者コメントの紹介

- ・ 紙リサイクルについて考え、実際に取り組む中で、小さな行動が未来を変える力になることを学びました。紙という身近な「友」を大切にこれからも環境のためにできることを続けていきたいと思います。
- ・ 紙資源の循環と地球の未来について身近に感じられるよう表現や標語を工夫しました。自分の作品を通じて一人でも多くの方に紙リサイクルの大切さが伝わることを願っています。
- ・ この作文を書くにあたって、紙リサイクルはもちろん、学校で使われる紙が使用後どのような道をたどるのか、周りの人々が紙リサイクルについてどのような意識を持っているのか知ることができ、紙リサイクルについての理解が大きく深まりました。
- ・ 自分の身近に紙リサイクルできるものがあることをみんなにわかりやすく、親しみやすく伝えたいと思いこの絵を描きました。



受賞者コメントの様子

表彰式では、審査委員長を務めて頂いていた全国小中学校環境教育研究会の關口会長から「紙リサイクルはもちろん、普段の学習や家族との協力、地域の連携など関わりを大切にしていこうという想いのある作品が多かった。皆さんの希望と力強さが大人にとっても嬉しいエネルギーとなっている。共に世界に紙のリサイクルを広げていくことを願っている。」という講評をいただきました。

当センターはこれからも紙リサイクルコンテストを通じて、次世代を担う小中学生に紙リサイクルの目的や重要性を周知し、持続可能な社会づくりに寄与して参ります。



關口会長 講評

# 全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2025 入賞者一覧

応募総数：2,112 点（応募校数：97 校）

理事会報告

活動報告

センター日誌

## 【文部科学大臣賞】

部門	都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル
作文部門	兵庫県	加古川市立氷丘南小学校	5	井原 彪	友よ、また会う日まで
ポスター部門	大阪府	大阪市立董中学校	3	中井 悠仁	回してなんぼ 紙も地球も 未来の資源やで

## 【金賞】

部門	都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル
作文	小学生部門	福岡県 明治学園小学校	6	能美 にな	究極の未来の輪の中へ
	中学生部門	大阪府 咲くやこの花中学校	2	森田 智	紙にもう一度いのちを
ポスター	小学生部門	兵庫県 豊岡市立豊岡小学校	4	田中 優羽	紙リサイクル広げよう
	中学生部門	広島県 広島市立二葉中学校	1	中岡 優里	みんなの未来へ リサイクル

## 【特別金賞】

部門	都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル	
全国製紙原料商工組合 連合会 理事長賞	北海道	札幌市立 資生館小学校	6	縄 乃々香	私たちまだ 生まれ変われます!	ポスター
日本再生資源事業協同 組合連合会 会長賞	愛媛県	愛媛大学教育学 部附属小学校	2	若狭 早	なんと大きな トイレトペーパー	作文
段ボールリサイクル 協議会 会長賞	広島県	広島市立 二葉中学校	1	江角 南桜	見つけよう! リサイクルマーク	ポスター

## 【銀賞】

部門	都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル
作文	小学生部門	愛知県 名古屋市立川原小学校	5	神谷 すみれ	紙一枚から考える未来
	中学生部門	静岡県 静岡市立清水飯田中学校	2	宮原 心美	生まれ変わる紙「古紙」
ポスター	小学生部門	神奈川県 相模原市立谷口台小学校	4	山田 恵美	ぼくたちの気持ち
	中学生部門	山口県 岩国市立岩国中学校	2	森本 穂乃佳	未来へダンクシュート!!

## 【銅賞】

部門	都道府県	学校名	学年	氏名	タイトル	
作文 小学生部門	東京都	荒川区立第二日暮里小学校	4	安喰 みあ	ざつがみ様をさがせ	
	大阪府	中之島小中一貫校	6	水野上 夕乃	世界中の人々と地球を笑顔に	
	静岡県	静岡サレジオ小学校	4	牧田 桜子	古紙リサイクルの大切さ	
中学生部門	宮崎県	都城市立姫城中学校	3	北郷 優斗	都城から考える 紙を大切に使う心	
	神奈川県	横浜市中川西中学校	3	友永 陽菜	みんなで進める紙リサイクル	
	高知県	いの町立本川中学校	3	高橋 そよか	リサイクルって、紙の第二章。	
ポスター 小学生部門	兵庫県	姫路市立広畑第二小学校	2	赤木 紗彩	せかいじゅうのみんなで 紙リサイクル	
	福岡県	古賀市立古賀東小学校	3	大嶋 陽葵	ぼくたちのゴールは リサイクルだ!	
	京都府	福知山市立惇明小学校	5	迫田 夏知	広げよう!つなげよう! 紙リサイクル	
	中学生部門	愛媛県	今治市立大三島中学校	2	木村 佳奏	リサイクルは離再来る
		東京都	北区立稲付中学校	3	金子 かりん	まずは知ろう
		山形県	山形大学附属中学校	1	佐藤 綾芽	よーいドン! リサイクルのバトンをつなげ!!

## 【学校特別賞受賞校】

区分	都道府県	学校名	継続応募年数
小学校	東京都	荒川区立第三日暮里小学校	13年

## 【学校奨励賞受賞校】

部門	都道府県	学校名	応募点数
小学校部門	東京都	荒川区立第三日暮里小学校	264点
中学校部門	広島県	広島市立二葉中学校	370点

# 文部科学大臣賞 作文部門

## 友よ、また会う日まで

紙リサイクルは、資源の引っこしだ。次の場所で活やくできるように、ぼくたちが資源を送り出してあげなくちゃいけない。

今年の夏に引っこしをしたことがきっかけで、紙のリサイクルに関心を持つようになった。引っこしは、紙やダンボールといったコン包資材を使用する。家族の大切な思い出と荷物を、紙たちがやさしく包んで守ってくれた。引っこしが終わり、荷解きをすると、部屋のすみに古紙の山ができた。荷造りをしているときにも感じたが、引っこしはおどろくほどたくさんの紙やダンボールといった資源を使う。ぼくたちのくらしは、資源に支えられているのだ。しばらくして、大量の古紙は、引っこし屋さんに引き取られていった。新しい生活にも慣れてきたころ、「回収された紙たちはどうなったのだろう。」と、古紙の行方が気になった。引っこし屋さんに聞いてみると、古紙は分別後に業者に持ちこまれ、リサイクル工程を経て再生紙に生まれ変わると教えてくれた。ぼくたちが引っこしで使った紙やダンボールも、リサイクルされてどこかでだれかの役に立っているかもしれない。そう思うと、なんだかうれしくなった。

古紙のリサイクルは、どれほど進んでいるのだろうか。調べてみると、昨年日本で回収された古紙は千六百七十七万トン。なんと、古紙回収率は八割をこえている。多くの人が資源やかん境について考え、紙リサイクルに取り組んでいることがうかがえる。リサイクルは、限りあ

加古川市立氷丘南小学校 5年 井原 彪

る資源を守り、豊かな地球を未来につなぐために必要な仕組みだ。

ぼくも身近なところから紙のリサイクルを始めようと、ごみ箱の横に古紙分別用の箱を置くことを母に提案した。実際に置いてみると、今まで「面どうだから。」という理由で捨てられていた紙たちが、リサイクルボックスに入れられるようになった。古紙の行き先は、ごみ箱かリサイクルボックスか。ぼくたちの意識と工夫で、未来を変えることができる。

古紙を分別するなかで、紙パックやダンボールといったリサイクル可能な製品についているリサイクルマークが参考になることも学んだ。引っこしで使用したダンボールにも、「ダンボールはリサイクル」という文字と一しょにこのマークが書かれていた。ほかにも、リサイクルマークには、古紙を原料に利用した製品についているグリーンマークなどがある。リサイクルマークは、人にもかん境にもやさしい未来への地図だ。地図があれば、迷わずに資源を送り出し、また迎えてあげることができる。

紙リサイクルの意義を知ったことで、ぼくも積極的にリサイクルに取り組むようになった。「ありがとう。また会おうね。」と、リサイクルステーションで古紙を見送る。リサイクルの輪によって、ぼくたちは出会いと別れをくり返す。紙リサイクルは、資源の引っこしだ。地図を片手に、人が生き、資源が生きる社会を未来へとつないでいこう。

# 文部科学大臣賞 ポスター部門

回してなんぼ 紙も地球も 未来の資源やで

大阪市立堇中学校 3年 中井 悠仁



# 金賞 作文小学生部門

## 究極の未来の輪の中へ

明治学園小学校 6年 能美 にな

六年間、特に雑がみについて調べてきた。周知から分別の方法、リサイクル活動の継続など考えてきたが、ふと思った。もしかしたら、まだ気付いていないことがあるかもしれない。実際の現場を見てこそわかることが、まだたくさんあるのではないだろうか。

この夏私が訪れたのは、雑がみをトイレトペーパーにリサイクルする工場だ。はじめに目に入ったのは、ブロックのように圧縮された雑がみの大きなかたまり、ベールだ。この工場では一個一トンものベールを、なんと一日に百個も処理しているそうだ。ベールは運ばれ、インクや異物が取り除かれる。そして繊維状の『紙の赤ちゃん』である再生パルプへと変身した雑がみは、その後抄紙と呼ばれる過程で高速乾燥される。出来上がるのは大きなトイレトペーパーのロール、通称ジャンボロールだ。一巻きを一人で使うと三百年も使えるらしい。もしも徳川吉宗が生きていたら、やっと今「替えよう」と思うのだと考えると、思わず笑いがこぼれてきた。周りに何個も並んでいるジャンボロールはその後巻き直してカットされ、みるみるうちに私達がよく見るトイレトペーパーへと生まれ変わっていった。

実際の現場を見て驚いたことがある。雑がみリサイクルの過程では、さまざまな副産物が発生する。異物として除去された金属、プラスチック、パルプを作るときに出るスラッジなどだ。スラッジは固められ、近くにある製鉄所で使わ

れる。プラスチックは固形燃料に再生されるし、金属もリサイクル業者に回収されるらしい。また、リサイクルの途中で穴が開いたりして商品にならないトイレトペーパーは工場内で『振り出し』に戻り、原料として再スタートしていた。つまりこの雑がみリサイクル工場は、環境負荷物質を出さない、まさに究極のリサイクル工場だったのだ。この工場から出るごみは従業員の食べかすくらいだよと、案内してくれた方が笑って教えてくれた。他にも、過去にはリサイクルが難しいとされていたシュレツダーにかけた紙なども、最近では原料として扱えるようになってきたという。「古紙の世界っていうのはすごく循環型なんだ。いろいろな種類の紙をリサイクルに回せるように、僕たちもどんどん進化しているんだよ」と、工場の方が誇らしそうに教えてくれた。

六年間で調べつくしたと思っていたが、百聞は一見に如かず。実際の現場を見て、新しく知ることがたくさんあった。何より、雑がみリサイクル工場は、進化し続ける究極のリサイクル工場だということが分かった。私たちは雑がみをリサイクルすることで、この最先端の技術とエコの輪の中に入り、究極のリサイクルメンバーの仲間になることができる。

さあ、私たちも進化を続けよう。もっと輪を広げよう。今よりももっともっと素敵な、究極の未来を目指して。

## 金賞 作文中学生部門

### 紙にもう一度いのちを

咲くやこの花中学校 2年 森田 智

「じゃあ授業終わります。」先日、先生が学校で重版に使う紙についての話題を取り上げた。学校で使用した紙のその後については今まで考えたことも無かったので、とても印象的だった。後日、詳しく話を聞くことにした。

職員室には、片面だけに印刷された紙と両面印刷された紙とで分けて集めるところがあり、使わなくなった紙でリサイクル可能なものから古紙回収のための箱に集められる。生徒の名前など個人情報が記載されているものはシュレッダーに掛けてから。学校のゴミ捨て場には、ゴミを捨てる場所とは別に、古紙回収のスペースも設けられている。職員室で集められたプリントやコピー用紙は、雑がみとして、この古紙回収に出す、といった取り組みが行われていることを教えて頂いた。

職員室ならば、取り組みが決められているので一貫して紙リサイクルに取り組むことができる。しかし生徒に配られたプリントは各家庭に委ねられるため、そうはいかない。

そこで私は、生徒は学校から貰ったプリントをどのように処理しているのか疑問に思い、アンケートを取ることにした。学年内五十人の協力を得て、三つの質問に答えてもらった。

まず一つ目の「紙リサイクルの存在を知っているか」という質問に対し、はいと答えた人は八十四%、いいえと答えた人は十六%だった。二つ目の「住んでいる地域での古紙回収の取り組みはあるか」という質問に対しては、あると

答えた人は三十%、ない、わからないと答えた人はいずれも三十五%となった。そして三つ目の「学校からもらったプリントはどのように処理しているか」という質問に対しては、裏紙として使うと回答した人が二十四%、ゴミとして捨てるかと回答した人が六十六%、古紙回収に出すと回答した人は僅か十%という結果となった。十%という数字は、決して大きいとは言えない。

三つの結果から「古紙回収の取り組みが行われているのを知っているが参加していない」または「紙リサイクルについて知っているが居住地での取り組みが無い、わからないために古紙回収の取り組みができない」の二つのパターンが多く見られることがわかる。

「知らない・できない・踏み出せない」この三つの課題を解決できれば、紙リサイクルは大幅に前進するのではないだろうか。例えば、地域の小学校で古紙回収の取り組みを行ったり、地域ごとに一年間で古紙回収された紙の割合で競い合ったりするなど、紙リサイクルを知るきっかけを作り身近に感じてもらうことで、自分にも関係があることなのだと思える人が増えるはずだ。

幅広い場面で電子媒体が採用される今だからこそ、学校や普段の生活で欠かせない紙がある。紙を使うのは、私達。紙にもう一度いのちを与えるのも、私達だ。

# 金賞 ポスター小学生部門

紙リサイクル広げよう

豊岡市立豊岡小学校 4年 田中 優羽



理事会報告

活動報告

センター日誌

# 金賞 ポスター-中学生部門

みんなの未来へ リサイクル

広島市立二葉中学校 1年 中岡 優里



# 全国製紙原料商工組合連合会 理事長賞

私たちまだ生まれ変われます!

札幌市立資生館小学校 6年 縄 乃々香



# 日本再生資源事業協同組合連合会 会長賞

## なんと大きなトイレトペーパー

愛媛大学教育学部附属小学校 2年 若狭 早

ひょうしょうしきのぶたいに、ゴロンゴロン。見たことないほど大きな「白いロール」がころがってきて、ぼくはびっくりした。「こちらはトイレトペーパーのとく大レプリカです！」

それを高校生のお兄さんお姉さんがニコリえがおでうけとり、はく手がおこった。

はいくの町・えひめけん松山市で毎年行われる大会には、かわったトイレトペーパーがとう場する。松山市の「きみつ文書」をリサイクルしたトイレトペーパーで、なんと十年分。じつは「紙リサイクルの大切さ」を多くの人に知ってもらうため、インパクトたっぷりのおひるめをしているのだ。

会社のじゅうようなじょうほうが書かれたきみつ文書はとりあつかいちゅうい。

「古紙回しゅうがなんとなく、ふあん。」

と言って、つかいおわった文書、つまり「ごつがみ」をためてしまう人もいるそうだ。それでは紙リサイクルの「わ」が回らなくてこまってしまう。

あんぜんに、きみつ文書を回しゅうできるシステムがあること。そしてトイレトペーパーに生まれかわることで、しげんをさいりょうでできること。これらを知れば、ねむったままのしげんを紙リサイクルの「わ」に入れられるようになる。知ることは大きな力だ。

では、これからの紙リサイクルはどのようなものになるのだろうか。小学生のぼくにもでき

ることはあるのだろうか。知りたいことがふえたぼくは、家の近くの古紙回しゅう会社にお話を聞くことにした。社長さんからいただいたおへんじは、つぎのものだった。

古紙はこれから、もっときちょうなしげんになるということ。人口がへり、ペーパーレス社会となり、紙をつかう人もそのりょうもへっていることを教えてもらった。たとえば、松山市では、れいわ六年に「ついに人口五十万人われ」がニュースとなった。日本ぜん体だともっと大きい数字になる。それでも今、生きている人にとって紙は生活になくってはならない。だからこそ古紙を正しく分けて、リサイクルすることが大切なのだ。

そして、小学生にできる紙リサイクルもあるということ。家で古紙を正しく分けることのほか、小学校でとり組める紙リサイクルについて教えてもらった。それは「きゅう食の牛にゅうパック」をひらいてあらい、回しゅうしやすいようにすること。もうとり組んでいる小学校では、紙リサイクルの大切さがしっかりつたわっているそうだ。

社長さんのお話のおかげで、ぼくは目ひょうができた。それは「きゅう食の牛にゅうパック」のとり組みをたくさん的小学校に広めることだ。その時はインパクトたっぷりのとく大レプリカをよういして、紙リサイクルの「わ」を分かりやすく見せたいと思う。

# 段ボールリサイクル協議会 会長賞

見つけよう! リサイクルマーク

広島市立二葉中学校 1年 江角 南桜



# 令和7年度 センター日誌

1月～3月分

理事会報告

活動報告

センター日誌

月	日	会議名	主要議題
1月	15日 (木)	近畿地区委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>①古紙の需給・市況動向について</li> <li>②今後の近畿地区委員会の開催予定</li> </ul>
	20日 (火)	北海道地区委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>①古紙共販集計表について</li> <li>②古紙需給動向について</li> <li>③古紙消費実績と計画対比表について</li> <li>④令和8年1月～6月古紙消費計画について</li> <li>⑤北海道商組の古紙仕入・出荷・在庫量調査表について</li> <li>⑥古紙の消費量と在庫量の推移</li> <li>⑦情報交換</li> <li>⑧その他                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和8年度組合古紙共販事業について</li> <li>・令和8年度集団回収感謝状贈呈について</li> <li>・その他</li> </ul> </li> </ul>
	22日 (木)	1月度常任理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>①九州地区委員会への家庭紙メーカーの参画要望について</li> <li>②集団回収感謝状贈呈実施要領の改定について</li> <li>③主要古紙価格の調査終了について</li> <li>④「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2025」について</li> <li>⑤“紙リサイクル”コンテスト2025 学校特別賞・学校奨励賞について</li> <li>⑥その他                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul> </li> </ul>
		第8回業務委員会 (Web会議システム併用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各地区の古紙の需給・市況動向について</li> <li>②2026年1月～6月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について</li> <li>③「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2025」について</li> <li>④“紙リサイクル”コンテスト2025 学校特別賞・学校奨励賞について</li> <li>⑤感熱性発泡紙に関するお願い文書の送付について</li> <li>⑥その他                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の業務委員会等の開催予定</li> </ul> </li> </ul>
	28日 (水)	静岡地区委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>①古紙の需給・市況動向について 古紙の市況動向・品質状況報告</li> <li>②事務局からの連絡事項                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○広報事業について                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙リサイクル出前授業</li> <li>・全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2025</li> <li>・「雑がみさまを探せ!」の実施実績と今後の方針</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>③令和8年度予算及び事業計画(案)</li> <li>④2026年1月～6月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について</li> <li>⑤その他                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・感熱性発泡紙に関するお願い文書の送付について</li> <li>・委員名簿の確認</li> <li>・静岡地区委員会事務局所在地名の変更について</li> <li>・今後の開催予定</li> </ul> </li> </ul>

月	日	会議名	主要議題
2月	6日 (金)	関東地区委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>①古紙需給動向(古紙問屋)</li> <li>②古紙及び製品需給動向(製紙会社)</li> <li>③古紙品質トラブル報告</li> <li>④感熱性発泡紙に関するお願い文書の送付について</li> <li>⑤段ボール、新聞、雑誌古紙 2025年10月～12月消費実績 2026年1月～6月消費計画</li> <li>⑥その他                     <ul style="list-style-type: none"> <li>○東京23区のごみ問題を巡る現状認識と今後のセンター事業活動の考え方</li> <li>○全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2025                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・応募結果：2,112点(前年2,955点)</li> <li>・一次審査会(1月6日)、最終審査会(1月26日)を実施し受賞作品決定</li> <li>・表彰式：2月28日(土)13時30分 ホテルメトロポリタンエドモント</li> </ul> </li> <li>○日本製紙連合会「ラブレターイベント2026 バレンタインデーは、手紙を書こう。」 2月7日(土)～2月14日(土)池袋・サンシャインシティ 噴水広場(アルパB1)</li> <li>○紙リサイクル出前授業(予定) 2月14日(土)板橋区立加賀小学校(いきいき寺子屋プラン事業) 2月18日(水)横浜市立瀬谷第二小学校 4月29日(水)世田谷区リサイクル千歳台 7月22日(水)中野区リサイクル展示室</li> <li>○千葉大学「Chiba Fes 2026」出展 2月15日(日)</li> <li>○こどもエコクラブ全国フェスティバル 3月21日(土)</li> <li>○今後の関東地区委員会の開催予定</li> </ul> </li> </ul>
	12日 (木)	九州地区委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>①令和8年1月～2月の九州地区古紙需給状況及び品質について</li> <li>②報告事項                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度古紙リサイクルバスツアー(北九州市)について 1月14日(水)大原小学校(八幡地区) 2月 3日(火)貴船小学校(小倉北区) 2月13日(金)北方小学校(小倉南区)</li> <li>・出前授業 1月26日(月)朝倉市立杷木小学校6年生 3月18日(水)宮崎市立瓜生野小学校1年生</li> <li>・研修会 3月 6日(金)レンブラントホテル大分 3月 7日(土)懇親ゴルフ：中止</li> <li>・集団回収優良団体表彰推薦依頼文書について 締切：4月17日(金) 総会・表彰式：6月11日(木)</li> </ul> </li> <li>③令和8年度九州地区委員会活動計画(案)について</li> <li>④家庭紙メーカーの九州地区委員会参画について</li> <li>⑤その他</li> </ul>

月	日	会議名	主要議題
2月	13日(金)	中部地区委員会 北陸分会	①古紙需給市況動向 ②令和8年度予算編成について ③第8回業務委員会報告について ④その他
	17日(火)	東北地区委員会	①関東地区委員会報告 ②市況交換 ③古紙センター事業について ④その他 ・今後の日程について
		中部地区委員会 東海分会	①古紙需給市況動向 ②令和8年度予算編成について ③第8回業務委員会報告について ④その他
	18日(水)	財務委員会	第1号議案 令和8年度事業計画(案)について 第2号議案 令和8年度収支予算(案)について 第3号議案 令和8年度国債購入方針について
	25日(水)	2月度常任理事会	①通常理事会の開催日時及び議案について ②令和8年度事業計画(案)について ③令和8年度収支予算(案)について ④事業内容(「公益目的事業の種類及び内容」並びに「収益事業等の内容」)について ⑤規程の制定・改定について ⑥「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2025」の審査結果について ⑦内閣府による点検調査結果概要 ⑧その他 ・今後のスケジュールについて
	第9回業務委員会 (Web会議システム併用)	①各地区の古紙の需給・市況動向について ②「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2025」の審査結果について ③令和8年度予算作成状況について ④集団回収感謝状贈呈実施要領の改定について ⑤内閣府による点検調査結果概要 ⑥その他 ・今後の業務委員会等の開催予定	
	26日(木)	近畿地区委員会	①古紙の需給・市況動向について ②今後の近畿地区委員会の開催予定
3月	6日(金)	中・四国地区委員会	①製紙メーカー生産状況・古紙入荷状況 ②各地区の古紙市況報告 ③質疑応答 ④事務局からの説明 ・「雑がみさまを探せ!」の啓蒙活動について ・中四国地区の集団回収感謝状等贈呈団体の推薦について
		九州地区委員会	①令和8年2月～3月の九州地区古紙需給状況及び品質について ②令和7年度古紙リサイクルバスツアー(北九州市)について 1月14日(水) 大原小学校(八幡地区) 2月 3日(火) 貴船小学校(小倉北区) 2月13日(金) 北方小学校(小倉南区)

月	日	会議名	主要議題
3月	6日(金)	九州地区委員会	③出前授業 1月26日(月) 朝倉市立杷木小学校6年生 3月18日(水) 宮崎市立瓜生野小学校1年生 ④令和8年度九州地区委員会活動計画(案)について ⑤紙リサイクルコンテスト2025の結果 ⑥集団回収優良団体表彰推薦依頼文書について ⑦家庭紙メーカーの九州地区委員会参画について ⑧その他
	12日(木)	第3回国際委員会 (Web会議システム併用)	〈第1部〉 ①古紙需給の現状及び見通しに関する情報交換 ・古紙発生の現状及び見通し報告 ・国内製紙会社の古紙消費の現状及び見通し報告 ・古紙輸出に関するトピックス及び見通し報告 ②2026年度国際委員会日程(案) ③2026年の古紙需給の現状及び見通しに関する情報交換の発表順番について ④2026年度古紙輸出に伴う賛助会費について ⑤次回のスケジュール 〈第2部〉 “古紙の循環的利用の適正の確保のための古紙卸売業に関する法律案(仮称)要綱(案)について” 古紙持ち去り問題意見交換会 事務局 後藤 浩成 氏 (公益社団法人東京都リサイクル事業協会 事務局長)
	17日(火)	関東地区委員会 (Web会議システム併用)	①古紙需給動向(古紙問屋) ②古紙及び製品需給動向(製紙会社) ③古紙品質トラブル報告 ④欧米 2025年 紙・板紙生産量について ⑤集団回収感謝状等贈呈実施要領の改定について ⑥その他 ○こどもエコクラブ全国フェスティバル2026出展 3月21日(土) 国立オリンピック記念青少年総合センター ○ラグビーリーグワン試合会場でのブース出展 3月28日(土) 柏の葉公園 総合競技場 NECグリーンロケッツ東葛 vs 清水建設 江東ブルーシャークス ○紙リサイクル出前授業(予定) 4月22日(水) チャレンジド(障害者の就労支援を行っている福祉事業所) 4月29日(水) 世田谷区リサイクル千歳台 6月20日(土) 中央区環境情報センターエコーバ 7月11日(土) 板橋区リサイクルプラザ 7月22日(水) 中野区リサイクル展示室

月	日	会議名	主要議題
3月	17日(火)	関東地区委員会 (Web会議システム併用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和8年度集団回収感謝状贈呈式等について(案) 候補日：令和9年(2027年)2月3日(水)又は5日(金) 会場：アートホテル日暮里ラングウッド スケジュール： 14:00~14:45 メーカー会議 15:00~15:45 関東地区委員会 16:00~16:35 集団回収感謝状贈呈式(終了後記念撮影の時間含む) 16:45~18:45 懇親会</li> <li>○関係団体主催の会合等に出席・参加(報告) ・2月20日(金)全国牛乳容器環境協議会「2025年度(第38回)飲料用紙パックリサイクル促進 意見交換会」 ・2月26日(木)全国牛乳パックの再利用を考える検討会「第3回飲料用紙パック回収システム強化検討会」 ・2月27日(金)紙製容器包装リサイクル推進協議会「川崎市組成分析調査(行政収集ミックスペーパー)」 ・3月4日(水)日本製紙連合会「第3回プロジェクトP 推進協議会」 ・3月6日(金)全国製紙原料商工組合連合会「再資源化事業等高度化法の認定制度の活用に関する意見交換会」</li> <li>○今後の関東地区委員会の開催予定</li> </ul>
	18日(水)	近畿地区委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>①古紙の需給・市況動向について</li> <li>②今後の近畿地区委員会の開催予定</li> </ul>
	24日(火)	第26回家庭紙委員会 (Web会議システム併用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①古紙入荷・消費・在庫(2025年11月~2026年1月)古紙地域別入荷(同上)</li> <li>②古紙の需給の現状及び見直しに関する意見交換 古紙発生の現状、見直し、古紙輸出、トピックス等 メーカー消費の現状及び見直し</li> <li>③古紙の品質に関する情報交換 メーカーでの品質トラブル、禁忌品報告</li> <li>④その他 ・令和8年度事業計画(案)について ・今後の家庭紙委員会の開催予定</li> </ul>
	26日(木)	北海道地区委員会 (Web会議システム併用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①古紙共販集計表について</li> <li>②古紙需給動向について</li> <li>③古紙消費実績と計画対比表について</li> <li>④令和8年1月~令和8年6月古紙消費計画について</li> <li>⑤北海道商組の古紙仕入・出荷・在庫量調査表について</li> <li>⑥古紙の消費量と在庫量の推移</li> </ul>

月	日	会議名	主要議題
3月	26日(木)	北海道地区委員会 (Web会議システム併用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦情報交換</li> <li>⑧その他 ・令和8年度集団回収感謝状贈呈について ・令和8年度広報宣伝事業について ・5月会議スケジュール ・新しい事務局長予定者の紹介</li> </ul>
		静岡地区委員会 (Web会議システム併用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①古紙の需給・市況動向について 古紙の市況動向・品質状況報告</li> <li>②事務局からの連絡事項 ○広報事業について ・令和8年度紙リサイクル出前授業について ・雑がみ分別・回収啓発促進活動について ・富士市制施行60周年イベントへの参加について ・全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2025の審査結果について ・集団回収感謝状贈呈実施要領の改定について</li> <li>○地区事業について ・令和8年度第1回地区事業活性化事業情報・意見交換会の開催について</li> <li>③その他 ・大型連休期間中の古紙受け入れ計画の調査について ・今後の開催予定</li> </ul>
30日(月)	3月度常任理事会		<ul style="list-style-type: none"> <li>①通常理事会の事前打ち合わせ</li> <li>②トピックス</li> <li>③全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2025受賞作品集について</li> <li>④令和7年度第10回業務委員会議事次第について</li> <li>⑤その他 ・今後のスケジュールについて</li> </ul>
		通常理事会 (Web会議システム併用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1号議案 令和8年度事業計画及び収支予算書(案)について</li> <li>第2号議案 令和8年度資金調達及び設備投資の見込み(案)について</li> <li>第3号議案 事業の内容(「公益目的事業の種類及び内容」並びに「収益事業等の内容」)(案)について</li> <li>第4号議案 諸規程の制定・改定について 職務執行状況について 内閣府による点検調査結果概要について</li> </ul>
		第10回業務委員会 (Web会議システム併用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①通常理事会の報告について</li> <li>②各地区の古紙の需給・市況動向について</li> <li>③パッケージトレンドトピックス</li> <li>④全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2025受賞作品集について</li> <li>⑤その他 ・今後の業務委員会等の開催予定</li> </ul>

## 編集後記

本号では、17 回目の開催となる全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト 2025 の審査結果及び表彰式の様子を掲載しました。今年度の応募点数は 2,112 点（応募校数：97 校）となりました。本号では受賞作品の内、文部科学大臣賞 2 作品・金賞 4 作品・特別金賞 3 作品を掲載しています。どの作品も普段の学習や家族・地域と連携しながら紙リサイクルの輪を広げていきたいという子どもたちの希望にあふれたメッセージが込められていますのでご覧ください。あわせて、都内ホテルで開催した表彰式の様子も掲載しています。記念写真や受賞者へのインタビュー内容等も掲載していますのでご覧ください。

当センターでは、今後も紙リサイクルコンテストを通じて、次世代を担う小中学生に紙リサイクルについての周知を進めて参ります。来年度も皆様にお力添え頂けますようお願い申し上げます。

（武田）

## 地区委員会事務局

地区	郵便番号	所在地	電話番号	FAX 番号
北海道	060-0002	札幌市中央区北二条西2丁目 リージェントビル5階	011 (271) 1551	011 (232) 0017
東北	980-6003	仙台市青葉区中央4-6-1 住友生命仙台中央ビル3階 日本紙パルプ商事(株)北日本本社内	022 (225) 3359	022 (261) 4522
関東	104-0042	東京都中央区入船3丁目10番9号 新富町ビル4階	03 (3537) 6822	03 (3537) 6823
静岡	417-0818	富士市末広20番地6 静岡県富士工業技術支援センター内	0545 (35) 5270	0545 (35) 5026
中部	450-0002	名古屋市中村区名駅3丁目25番9号 堀内ビル7階	052 (582) 1836	052 (581) 6943
近畿	541-0052	大阪市中央区安土町1丁目7番13号 トヤマビル7階 日本製紙連合会関西支部内	06 (6262) 6315	06 (6262) 6316
中・四国	799-0492	四国中央市三島紙屋町2番60号 大王製紙(株)内	090 (9019) 2059	
九州	866-0896	八代市日置町320-2 1号棟101号室	0965 (37) 8217	0965 (37) 8218

# 会報

news  
LETTER

第 52 巻第 2 号  
2026 年 4 月 1 日

発行所

公益財団法人古紙再生促進センター

〒104-0042 東京中央区入船3丁目10番9号 新富町ビル 4F

電話 03 (3537) 6822 (代表)

ホームページ <http://www.prpc.or.jp>

発行人 川上 正智

印刷所 日本印刷株式会社

リサイクル適性<sup>®</sup>

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

古紙再生促進センターは紙リサイクルが担うSDGsの6つの目標を設定しました



公益財団法人 古紙再生促進センター

